

日光御成道の歴史

- 1400年代** 太田道灌によって、江戸城と岩付(岩槻)城を結ぶ道路として整備される(岩槻街道の誕生)
- 天正18年(1590)** 阿部正勝が徳川家康から鳩ヶ谷の地五千石の知行を受ける
- 慶長5年(1600)** 家康が会津(上杉景勝)討伐に向かう
- 慶長8年(1603)** 家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を樹立
- 元和2年(1616)** 家康没
- 鳩ヶ谷が幕府直轄となり代官・伊奈氏の支配に
- 元和3年(1617)** 東照大権現を久能山から日光山へ遷座し、東照社成立
- 日光御成道が整備されはじめる
- 4月、将軍徳川秀忠が日光道中經由で家康の祀られる日光に社参を行う
- 元和8年(1622)** 4月、秀忠が社参を行う
- 寛永2年(1625)** 7月、将軍家光が社参を行う
- 寛永5年(1628)** 4月、大御所秀忠が社参を行う
- 寛永8年(1631)** 4月、家光が社参を行う
- 江戸を中心とした約5里(約20km)四方を将軍家専用の御成道とする
- 寛永9年(1632)** 4月、家光が社参(服喪により通称)
- 寛永10年(1633)** 将軍家御成道の外側を、徳川御三家と与える
- 寛永11年(1634)** 9月、家光が社参を行う
- 寛永13年(1636)** 4月、家光が社参を行う
- 鳩ヶ谷宿ができ、本陣が造られる
- 東照社を建て替え、日光東照宮が完成する
- 寛永17年(1640)** 4月、家光が日光御成道経由で社参を行うこのときから錫杖寺で昼食を取るようになる
- 寛永19年(1642)** 4月、家光が社参を行う
- 慶安元年(1648)** 4月、家光が社参を行う
- 慶安2年(1649)** 4月、大納言徳川家綱が社参を行う
- 承応年間(1652~1654)** 植木や苗木の栽培を安行の吉田権之丞が始める
- 明暦3年(1657)** 江戸大火によって焼野原となった江戸へ、植木や草花を供給して以来発展
- 寛文3年(1663)** 4月、将軍徳川家綱が社参を行う
- 享保年間(1716~1735)** 井沢弥惣兵衛により見沼田圃が造成される。見沼代用水路開きによって舟運・陸上交通が整備される
- 享保13年(1728)** 4月、将軍徳川吉宗が社参を行う
- 安永4年(1775)** 社参に備えて沿道の調査が行われる
- 安永5年(1776)** 4月、将軍徳川家治が社参を行う
- 安永14年(1843)** 4月、将軍徳川家慶が社参を行う
- 慶応3年(1867)** 将軍徳川慶喜が大政奉還を上奏
- 慶応4年(1868)** 明治政府樹立
- 昭和3年(1928)** 新荒川大橋が完成
- 昭和35年(1960)** 御成道の現川口市内区間が国道122号線となる
- は御成道通っての社参
- は御成道以外での社参
- *※年表中「月」は旧暦で表記しています。

川口市経済部産業振興課
〒332-8001 川口市青木2-1-1
電話:048(259)1918 / FAX:048(258)1161
関連動画はコチラ



1 一里塚ポケットパーク
いちりつつかほけつぱーく=戸塚 4-20

江戸から6番目の一里塚
かつて一里塚が設けられていた交差点の角が整備され、「一里塚ポケットパーク」として整備されている。日光御成道6番目の一里塚。片隅にはひっそりと馬頭観音が祀られている。

12 諏訪神社
すわじんじゃ=東川口 1-10

台地の縁の御休所
一本木町会会館の奥にある神社。かつては延寿院という寺と一体になっており、将軍社参の際の御休所に指定されていた。隣の大門宿まで間もないのに休憩に使われたのは、台地の縁にあり、当時ほど景色がよかつたからだろう。

9 地蔵院
じそういん=桜町 5-5-39

鎌倉時代中期の文化財も所有
本尊は地蔵菩薩。鎌倉時代中期の作とされる「木造不動明王立像」(埼玉県指定有形文化財)を所蔵している。境内には樹齢600年と推定されるクスノキの大木「タマノキ」や不二通の開祖、小谷三孝の墓がある。山門を入ると右手に「良縁地蔵」も祀られている。また、入り口脇には道標が立っている。

10 真乗院
しんじょういん=石神 1253

樹齢800年のコウヤマキも
本尊は不動明王。本堂の前に立つコウヤマキは、川口市指定天然記念物に指定されており、樹齢は800年とされている。境内の龍蔵堂には開闢、尊衣姿が安置されている。享保13年(1728)、将軍吉宗社参の際には小休所となった。

7 市神社
いちがみじや=鳩ヶ谷本町 2-2-2

市の祭神を祀るやしろ
鳩ヶ谷宿のほほ中程、御成道に面して祀られている。8代将軍徳川吉宗の時代、見沼通船堀が開削され、舟運が盛んとなり、物資の流通が盛んになるにつれて、市が開かれるようになった。やがて毎月3と8の日が開帳日と定められ、「三八市(さんばちいち)」と呼ばれるようになった。

8 法性寺
ほうしょうじ=桜町 1-11-51

市民に愛される「ふるさと森」
もとは太田道灌の創立した天台宗寺院。龍蔵院が鳩ヶ谷の人々の苦しみを救うために明応7年(1498)に創建したと言われている。本尊は釈迦牟尼仏。山門は足利時代末期の作。庭園は湧水に草木静寂な名園。境内全てが埼玉県「ふるさと森」に指定されている。

5 真光寺
しんこうじ=里 1306

現存する鳩ヶ谷本陣建築
味噌の醸造業と材木商で財を成した田中徳兵衛家が、大正12年(1923)に建築した洋館と昭和9年(1934)に増築された和館から構成されている。国登録有形文化財に指定され、現在は市の施設として公開・活用されている。

6 鳩ヶ谷水川神社
ほとがやがわみんじや=鳩ヶ谷本町 1-6-2

家康が境内で休憩した
応永元年(1394)に創建されたとされている。1600年、徳川家康が奥州出陣の途中、境内で休憩したという由緒ある神社。貴重な子連れ狛犬がある。境内には数多くの神棟と、戦没者慰霊碑が祀られている。

3 旧田中家住宅
きゅうたなかけいけつたく=末広 1-7-2

大正時代の本格的洋風住宅
味噌の醸造業と材木商で財を成した田中徳兵衛家が、大正12年(1923)に建築した洋館と昭和9年(1934)に増築された和館から構成されている。国登録有形文化財に指定され、現在は市の施設として公開・活用されている。

4 薬林寺
やくりんじ=朝日 1-4-33

開山1460年の歴史を刻む寺
本尊は阿彌陀如来。開山は寛正元年(1460)。山門近くに位置する庚申像は、長く人々の信仰を集め、鼻も口も分らないほど顔がすり減っている。境内には十一面観音を安置する観音堂などがある。

1 旧川口宿本陣表門
きゅうがわくちゆうじくほんじんおもてもん=本町 1-6

かつての町の中心、今はひっそりと
代々川口宿の本陣をつとめた永瀬家の門として現存する。川口宿の主要な業務は江戸と鳩ヶ谷宿への人馬継立て、常に馬役と歩行役(人足)の用意が必要とされた。今は奥まった場所にあるが、当時は御成道に面していた。

2 錫杖寺
しゃくじょうじ=本町 2-4-37

徳川将軍の日光参詣御休処
徳川将軍日光社参の際の御休所として指定され、3代将軍家光以降、歴代の将軍が昼食を取った記録が残っている。葵の御紋の使用が許され、瓦など随所に三葉葵を見ることが出来る。晩年に川口で過ごした最後の太皇太后(年寄・瀬山)とその伯母の染島の墓もある。

主な見所をチェック!



日光御成道観光ルートマップ

人あゆみ 街が息づく 御成道

歩いて楽しい歴史の道